

平成 24 年度 精神保健学・看護学分野教室ゼミ予定表(2012.4.25)
 日時：毎週水曜日 16:30-18:00 場所(予定)：医学部 3 号館 N101、S101 S102

日程	時間帯	担当者	司会	部屋	備考
4/2		教室オリエンテーション		S308	
4/4		(SPH オリエンテーション)			
4/11	16:30-18	教員 川上 "Improving Psychosocial Factors at Work: Behavioral Medicine Meets Occupational Health"	川上	N101	SPH/健看専攻会議+教授会
4/18	16:30-18	D3 Roseline Yong "Internet Addiction"	"	S101	教室快適委員会
4/25	16:30-18	D3 津野 "Supervisor leadership style and workplace bullying"	"	N101	学科会議+教授会
5/2		(連休中日より休講)			
5/9	16:30-18	D3 島田 "Longitudinal effects of work-family spillovers: Impacts on psychological distress among Japanese dual-earner couples with preschool children"	島津	S102	SPH/健看専攻会議+教授会 歓迎会
5/16	16:30-18	D3 梅田 Intimate Partner Violence (IPV). 1) Reliability and validity testing on the Japanese version of Revised Conflict Tactics Scales Short Form. 2) The moderating effects of socioeconomic status on the association between IPV and health.	"	S101	看護系教員全体会議 教室快適委員会
5/23	16:30-18	マイケル・ライター先生講演会	"	S102	学科会議+教授会
5/30	16:30-18	客員研究員 松岡恵子	宮本	第2セミナー室	産業衛生学会(名古屋)
(5/24[木] 10:30- 精神保健学実習説明会①場所 N101、実習グループから 1 名以上参加下さい)					
6/6	16:30-18	D3 今村 "Effects of an internet-based cognitive behavioral therapy (iCBT) intervention for improving depression among workers: A randomized controlled trial."	宮本	S102	SPH/健看専攻会議+教授会
6/13	16:30-18	D3 松長 1) Review: Identity of people with mental illness 2) Research plan: The process of formulating identity of people with schizophrenia	"	S102	
6/20	16:30-18	M2 下田 1) Review: Factors affecting test-retest reliability. 2) Research plan: Altruistic motivation and participation rates.	"	S102	学科会議+教授会 教室快適委員会
6/27	16:30-18	M2 後藤 School environment and mental health among Japanese school nurses : Master thesis	森	S102	看護系教員全体会議 教室快適委員会
7/4	16:30-18	M2 時田 1. Review: Return-To-Work for common mental disease. 2. Research plan: The effect of self-monitoring for absentee with depression ; Randomized Controlled Trial	"	S102	
(同窓会, 7/7[土] 15:00-)					
7/11	16:30-18	M2 山岸 Title : Current status of worksite mental health care in Japan	"	S102	SPH/健看専攻会議+教授会 18:30-暑気払い

(7/13[金] 10:30- 精神保健学実習説明会②場所 N101、実習グループから1名以上参加下さい)					
7/18		(夏期休業)			看護系教員全体会議
8/8		(夏期休業)			看護系教員全体会議
		(精神保健学実習, 9/3-7)			9/7 実習打ち上げ会
9/12	16:30-18	D1 江口 "Physical, mental, and sexual health of transsexuals after sex reassignment surgery: A population-based matched cross-sectional study in Japan". (Research plan for doctoral thesis)	川上	S102	
9/19	16:30-18	M1 三瓶 "child maltreatment(abuse)" 月森 "To promote discharges of people with severe mental illness and support their community lives: A review of family's burden & peer support"	島津	S102	学科会議+教授会 教室快適委員会
9/26	16:30-18	M1 安藤 "Mental health on precarious employees" 杉本 "Outcome evaluation on pro bono activities and non-profit management (tentative)" 三木 "The relationship between nutrition and mental health"	川上	S102	看護系教員全体会議
9/29-30		教室旅行 (埼玉県秩父・長瀨方面)			
10/3	16:30-18	D1 Bimala Banthee 1.Review of theoretical aspect of work engagement, workaholism, and recovery experience and its measurement scales 2.Research plan of my study 3.First phase of my study is "validation of the work engagement, workaholism and recovery experience questionnaire"	島津	S102	SPH/健看専攻会議+教授会
10/10	16:30-18	教員 島津 1) Distinctiveness of work engagement and workaholism in terms of the relationship with (ill-)health, job/family satisfaction, and job performance. 2) How work engagement and workaholism are associated with child's emotional and behavioral problems? : A mediating role of happiness	川上	S102	
10/17	16:30-18	D2 高野 1) Overview of web-based therapies for drug users 2) Drug abuse trends in Japan 3) Consideration of adapted web-based therapies for Japanese drug users 4) Research plan for my doctoral thesis	島津	S102	教室快適委員会
10/24	16:30-18	教員 森 A Case Report: Mrs. A with impulsive violence to her husband.	島津	S102	学科会議+教授会 公衆衛生学会 (山口)
10/31	16:30-18	陸前高田市消防団支援報告会	島津	S102	看護系教員全体会議
11/7	16:30-18	客員研究員 馬ノ段梨乃 "Relapse prevention interventions for employee on temporary retirement"	森	S102	SPH/健看専攻会議+教授会
11/14	16:30-18	特別講義: 西大輔先生 (独) 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所精神保健計画部・室長	森	S102	
11/21	16:30-18	非常勤講師 稲垣 "Effects of adherence therapy for people with schizophrenia: A randomized controlled trial"	森	S102	学科会議+教授会 教室快適委員会
11/28	16:30-18	博論予行①梅田・Roseline	院生	S102	看護系教員全体会議

12/5	16:30-18	博論予行②津野	院生	S102	SPH/健看専攻会議+教授会
12/12	16:30-18	博論予行③今村・島田	院生	S102	18:30-忘年会
12/19	16:30-18	教員 宮本	森	S102	学科会議+教授会 教室快適委員会
12/26		(冬期休業)		S102	看護系教員全体会議
1/9	16:30-18	課題研究発表予行	院生	S102	SPH/健看専攻会議+教授会
		(1/11 SPH 課題研究発表)		S102	
1/16	16:30-18	修論予行①	院生	N101	学科会議 教室快適委員会
1/23	16:30-18	修論予行②	院生	S102	学科会議+教授会
		(1/24-25 健・看修論審査会)			
1/30	16:30-18	卒論予行	院生	N101	14:30-15:30 看護系教員全体会議
		(2/4-5 卒論発表会)			
2/6	16:30-18	特任研究員 関谷	宮本	S102	SPH/健看専攻会議+教授会
2/13	16:30-18	M1 研究計画レビュー 三瓶 杉本	宮本	S102	
2/20	16:30-18	客員研究員 廣川空美	宮本	S102	学科会議+教授会 教室快適委員会
2/27	16:30-18	M1 研究計画レビュー 安藤 三木 月森	宮本	S102	看護系教員全体会議 13:00-15:00 大掃除 18:30- 歓送会
3/13	16:30-18	(予備)			14:30-15:30 看護系教員全体会議

「教室ゼミの進め方、発表の仕方」

1. 教室ゼミの基本方針

修士課程、博士課程院生が研究発表あるいは研究の進捗状況を報告し、教員による指導、院生同志の意見交換による切磋琢磨の場として活用する。また、客員研究員、教員、研究生、その他（外部講師など）による研究発表も行い、院生の教育に資する。

平成24年度からは、できるだけ英語での発表をするように心がけるよう院生に指導する。英語でのプレゼンがもっとも望ましいが、無理な場合でも英語でのパワポ作成（あるいは英文・和文双方でのパワポ表記）を行うよう努力する。

2. 開催時間・場所

開催時間：毎週水曜（夏期、冬季、春期休業を除く） 13時～14時半あるいは16時半～18時

場所：教室HPで掲示する。

3. 発表者

修士課程、博士課程院生を優先。原則として年1回以上発表する。

教員も原則として年1回以上発表する。客員研究員は2年に1回とする。

研究生、外部講師は、適宜発表の機会を設ける。

4. 発表形式

(1) 研究発表

院生の発表では原則として、自分の研究内容を発表する。

研究内容の発表には、以下が含まれる。

1) 文献レビュー：研究テーマに関する先行研究論文（英文で5編以上）を読み、そのサマリーを報告し、自分の研究の方向性を明確にする。自分の研究のメインテーマでなく、密接な関連テーマに関する文献レビューでもかまわない（使用した論文はリストをつけ、当日ハードコピーを回覧する）。

2) 研究計画：研究計画について、想定される対象、具体的な調査方法や解析手順まで含めた計画を発表し、意見をもらう。

3) 研究成果発表：研究の結果を報告する。データの間接解析結果の報告でもよい。自分の最近の発表論文について研究の経過、主要な結果、投稿時の苦労なども含め紹介するのもよい。

(2) その他

その他、学会発表予行、博論・修論・卒論予行などを行う場合もある。

5. 発表時間

1回あたり原則1名が発表。発表時間30分、討議45分。残り15分を事務連絡にあてる。

6. 運営

(1) 運営は、教員と院生代表（教室快適委員会委員長）が行う。

(2) 発表の割り当て：教員が院生代表と相談して決める。都合が悪く交代する場合には、発表者同志で調整する。

(3) 司会・進行：原則として教員（場合によって博士課程学生）

(4) 会場手配、器機のセットと撤収（中島さん、ゼミ担当院生）

(5) 当日配付資料：原則、発表者が準備すること。ゼミ開始時間10分前までには、配布できる準備が整っていること。

(6) パワーポイント使用可。ただし必ず配付資料は準備すること（パワーポイントの配付資料でも、その他の形式でもよいが、発表内容を示すもの）

7. 評価

発表内容、教室ゼミへの出席状況によって院生の成績評価を行う。

発表者がすべきこと

1. 予定表（教室HPに掲載、教室MLでもアナウンスされる）を見て、各自発表日を確認。
2. 都合が悪ければ、他の院生と交渉して交代してもらう。交代を川上に報告し、許可を得た上で交代する。交代は、HP管理担当者に連絡し、HPに反映。
3. 発表1ヶ月前までに、タイトル（テーマ）を決定する。 タイトルをHP管理担当者に連絡し、HPに掲載。
4. 発表1週間前に教室MLで自分の発表の種別（文献レビュー、研究計画、研究成果発表等）、タイトル（テーマ）、簡単な紹介をアナウンスする。
5. 発表当日、中島技術専門員、ゼミ担当院生と相談して会場、器機の準備をする。 配付資料は、ゼミ開始時間10分前までには、配布できる準備が整っているようにする。